



2017年の脅威予測

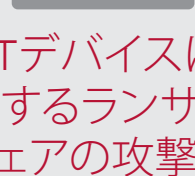
McAfee Labs

Intel Securityが2017年の脅威予測を行いました。

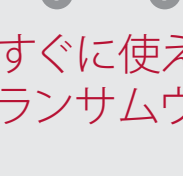
ランサムウェア

来年の中頃にピークを迎え、その後は減少していく

2016年のランサムウェアの動向



IoTデバイスに対するランサムウェアの攻撃



すぐに使えるランサムウェア



ランサムウェアのアフィリエイトプログラム



サービスとしてのランサムウェア

ランサムウェアの総数は2016年に80%増加

ランサムウェアのソースコード

セキュリティ業界の対応

捜査機関による取締り

ランサムウェア対策技術



WildFire
ランサムウェアの阻止

不正な暗号化の検出

不正な暗号化の検出



Shadeランサムウェアの阻止



動作監視技術

コラボレーション

NO MORE RANSOM!

CYBER THREAT ALLIANCE

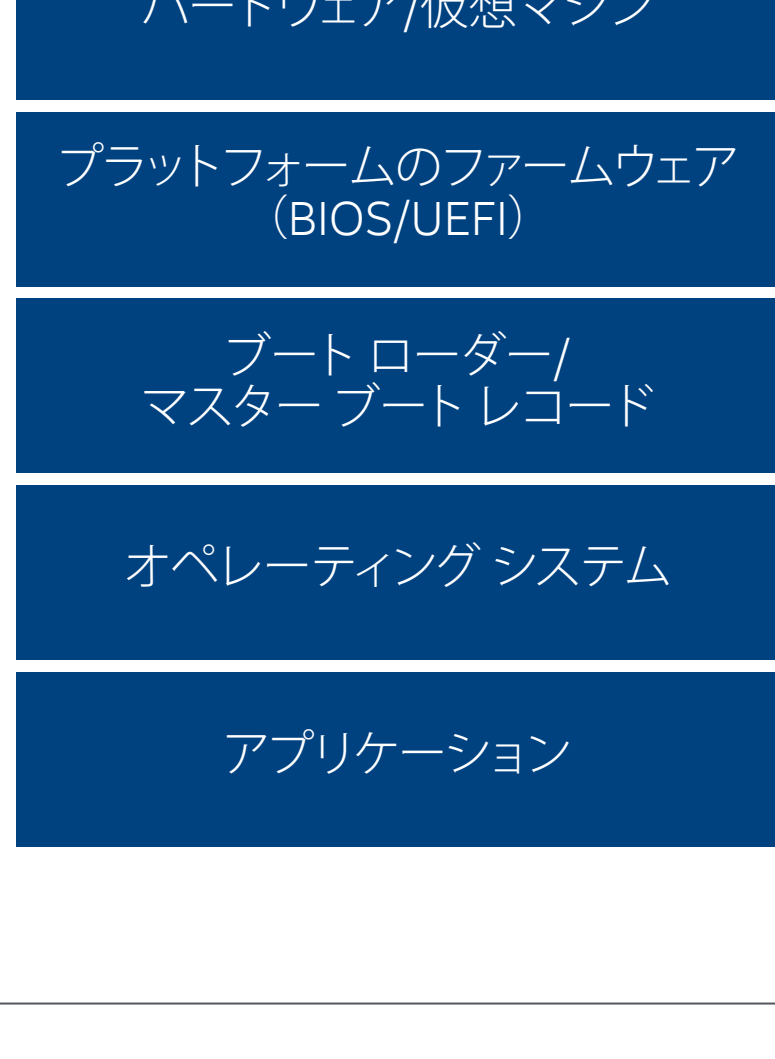
ハードウェアに対する攻撃

2017年はハードウェア、システムファームウェア、仮想マシンに対する攻撃が増加する

アプリケーションよりもハードウェアやファームウェアに対する攻撃が強化される

増大

先に実行



減少

後で実行

ハードウェアとファームウェアの既知の脆弱性



マイクロプロセッサ



DRAM



仮想マシン



システムファームウェア



ハードドライブ



USBデバイス



ネットワークカード



ホームルーター



プリンター

ソーシャルエンジニアリングによる攻撃

機械学習がソーシャルエンジニアリングによる攻撃を加速化させる



1 データ収集
データ侵害、ソーシャルメディア、公開情報



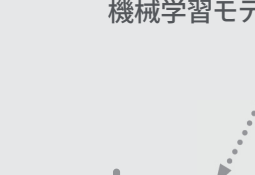
5 攻撃



2 抽出、変換、読み込み、機能選択、生成
機械学習モデルを習得

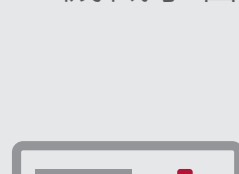


4 最初の接触
良く知られたソーシャルエンジニアリングの手口を利用

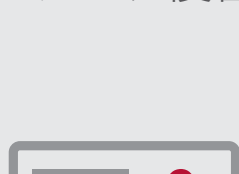


3 目標捕捉
機械学習による予測

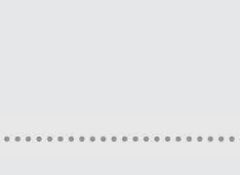
2016年は機械学習を利用したデータ侵害が発生



医療記録



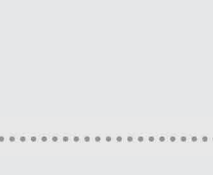
顧客情報



メールとソーシャルメディアの記録



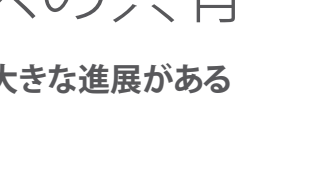
決算書類



盗まれたデータウェアハウス

脅威インテリジェンスの共有

2017年は脅威インテリジェンスの共有で大きな進展がある



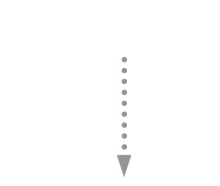
1 2015年: Cybersecurity Information Sharing Act
米国の政府機関と民間企業が脅威情報を共有する場合の保護義務を規定した法律

2 2016年: ISAO Standards Organization
情報共有と分析を効率的に行うためのガイドラインとベストプラクティスを策定



4 2017年: 脅威インテリジェンスの共有のプラットフォーム
脅威情報が企業のセキュリティシステムに自動的に追加されるプラットフォーム

3 2017年: ISAOコミュニティ
信頼されたコミュニティが設立



McAfee Labs 2017年の脅威予測

レポートの完全版は、www.mcafee.com/2017Predictionsをご覧ください。

